

きときと情報 2018 145号

富山県中小企業団体中央会

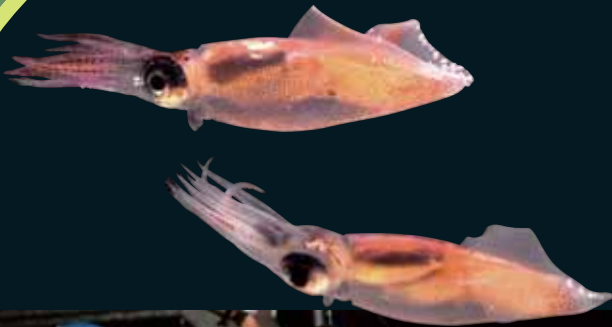
特集 小規模事業者組合を応援

—取引力強化推進事業の取り組み紹介—

経営者に聞く：株式会社四十物昆布 代表取締役社長 四十物 直之氏

組合紹介：桜木町地区振興事業協同組合さんよりこんにちは

中央会いんふおめーしょん：第58回中小企業団体富山県大会決議事項を県知事に要望しました ほか



表紙のことば

富山湾のシロエビ・富山湾産ホタルイカ

シロエビは、淡いピンク色に透き通った身をもつエビで、漁業として成り立つほどに漁獲されているのは全国でも富山県のみといわれる希少性の高いエビです。富山湾独特の「藍瓶(あいがめ)」とよばれる海底谷に生息するシロエビは、貴重な水産資源として獲りすぎることのないよう、4月～11月に定めて漁獲されます。

ホタルイカは、日本海側を中心に分布するイカの一種で、全身が青白く発光するのが特徴です。富山湾では、産卵期である3月～6月にかけて漁獲されます。産卵期のホタルイカが夜間に海岸近くの浅瀬まで浮上し、海面を青白く輝かせる現象は「ホタルイカ群遊海面」として国の特別天然記念物に指定されています。

「富山県のさかな」として知名度の高いシロエビ・ホタルイカは、特に優れた県産品として平成23年1月に「富山県推奨とやまブランド」に認定されています。

写真提供：富山県(とやまブランド物語)



経営者・役員・従業員とそのご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。



従業員のための 退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、
安定した退職金準備が
できる共済制度です。

特定退職金共済制度 引受保険会社
三井生命保険株式会社



経営者・従業員のための 万一の保障 団体扱生命保険

団体扱* (月払)の場合、
一般扱 (口座振替月払等) で
ご契約いただくよりも、
保険料が割安になります!

オーナーズプラン

経営者の
各種リスクマネジメントのために

パートナーズプラン

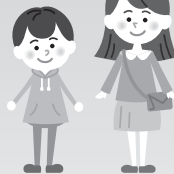
役員・従業員の皆さまの
保障準備をサポート



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる
従業員さまのケガなどのリスクを
カバーする保険です。

業務災害補償保険 引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社
業務災害補償保険 取扱代理店
三井生命保険株式会社



- * 団体扱とは、富山県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。
- ※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記までお問い合わせください。
- ※ 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおり-約款」および富山県中小企業団体中央会の「退職金共済規程(規約・規則)」等を必ずご覧ください。

三井生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の取扱代理店として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

三井生命保険株式会社 富山支社

〒930-0029 富山県富山市本町3-21 損保ジャパン日本興亜ビル5F
TEL:076-441-3194 <http://www.mitsui-seimei.co.jp/>

きときと情報 145号

C O N T E N T S

特 集

2

小規模事業者組合を応援 ―取引力強化推進事業の取り組み紹介―

経営者に聞く

8

株式会社四十物昆布 代表取締役社長 四十物 直之 氏

組合紹介

10

桜木町地区振興事業協同組合さんよりこんにちは

組合だより

11

新印刷会館「PALET (パレット)」が竣工 (富山県印刷工業組合)
とやマルシェの店舗を改装 専門学校生が設計 (協同組合富山のれん会)

元気印！青年部・女性部

12

富山 UBA 創立40周年記念式典・第33回中小企業団体青年部富山県大会を開催
(富山県中小企業青年中央会)
能作において工場見学及びランチ会を開催 (富山県中小企業レディース連絡会)

組合Q & A

13

行方不明組合員の出資金整理について

事務局ペンリレー

14

富山市管工事協同組合 係長 吉田 和史 氏

ほっと一息

14

商売繁盛祈る問屋稲荷神社 (協同組合富山問屋センター)

中央会いんぷおめーしょん

15

第58回中小企業団体富山県大会決議事項を県知事に要望しました
県内5経済団体による新春互礼会を開催しました
外国人技能実習制度適正化事業講習会を開催しました
消費税軽減税率対策講習会を開催しました

富山障害者職業センターからのお知らせ

17

職場復帰支援のご案内

富山税務署からのお知らせ

18

平成29年分の確定申告について

トピックス

今さらだけど知りたい とやまのモノ・コト・トコロ

小規模事業者組合を応援～取引力強化推進事業の取り組み紹介～

取引力強化推進事業は、中小企業及び小規模事業者の取引力強化促進を目的に平成28年度より中央会において予算化した補助事業で、組合員の2分の1以上が小規模事業者（従業員の数が20人（商業又はサービス業については、5人以下）の会社及び個人）である小規模事業者組合を対象としています。

対象事業は、中小企業・小規模事業者が連携し、共同事業の活性化や受注促進等取引力の強化促進を図るために行う、先進的又は波及効果・横展開が期待できる事業となっており、共同事業活性化や受注促進を目的にホームページやチラシ等を作成する事業等を支援しました。

今号では、本補助金を活用した事業について、昨年度及び今年度の採択された組合の取組みについて紹介します。

【年度別の補助率・補助限度額、及び採択数】

年 度	補助率	補助限度額	応募数	採択数
平成28年度	3分の2	20万円	5組合	5組合
平成29年度	3分の2	50万円	12組合	3組合

【採択組合及びテーマ】

採択年度	採択組合	採択テーマ
平成28年度	高岡銅器協同組合	「日本橋とやま館」での高岡銅器展示即売会開催におけるバナー及び組合員企業紹介展示物の作成
	伝統工芸高岡漆器協同組合	海外展開のための外国語パンフレットの作成
	伝統工芸高岡銅器振興協同組合	需要開拓の為の展示会出展用ポスター及びバナー製作事業
	富山県ます寿し協同組合	A R入りカード作成事業
	協同組合福岡金属工業団地	組合員の強みをPRするためのパンフレットの作成
平成29年度	井波彫刻協同組合	需要開拓の為のホームページの「レスポンスWEBデザイン」化事業
	高岡銅器団地協同組合	高岡銅器団地オープンファクトリー
	富山県和紙協同組合	販路開拓のためのパンフレット作成事業



高岡銅器団地オープンファクトリー



越中和紙パンフレット

1. 「日本橋とやま館」での高岡銅器展示即売会開催におけるバナー及び組合員企業紹介展示物の作成 (高岡銅器協同組合)

高岡銅器協同組合は、銅器、金物類の卸売業者（問屋）55社で組織されています。国指定の伝統的工芸品である「高岡銅器」は、鑄造、着色、彫金など、製造にかかわる職人と、商品の企画販売を行う問屋による分業制が取られてきました。その中で、問屋は、商品の企画から、原料の調達・加工委託・販売までを行い重要な役割を果たしていましたが、バブル崩壊とともに市場が大きく縮小、問屋を通さず独自に販路開拓を行う製造業者も増えてきました。問屋の存在価値が問われる厳しい時代となり、組合では新たなブランド開発のほか、組合員の販路開拓支援に今一度重点を置くこととしました。

このような中、平成28年11月にその年にオープンしたばかりの富山県のアンテナショップ「日本橋とやま館」で高岡銅器の展示即売会「樂縁市」を初めて開催し、取引力強化推進事業を活用して、屋外用の垂れ幕（バナー）と参加企業を紹介するリーフレットを作成しました。

組合では平成29年にも日本橋とやま館にて「樂縁市」を開催しました。販売方法や商品選定、事前のプロモーションなどの試行錯誤を重ね、今年も開催する予定で、今後も組合員の販路開拓に寄与していくこととしています。



日本橋とやま館の玄関に掲げられたバナー

【高岡銅器協同組合概要】

理事長 四津川 元将
所在地 高岡市開発本町1番1号
業種 銅器、又は金物類の卸売業
組合員数 55社
ホームページ <http://www.doukikumiai.com>

2. 海外展開のための外国語パンフレットの作成 (伝統工芸高岡漆器協同組合)

約400年の歴史を持つ高岡漆器は、国の伝統的工芸品に指定されており、伝統工芸高岡漆器協同組合は高岡漆器の問屋や製造業者により組織されています。

海外展開への契機となったのが、平成28年10月に中国の上海工芸美術博物館で初めて開催された「第1回日本工芸展 in 上海 高岡漆器2016」です。組合としては初めて海外での展示会となり、7日間の開催で多くの来場者を集めることができました。開幕前にはJETROの支援で、現地バイヤーとの商談会も開き、見通しの明るい成果が出ました。このようなことから組合として、より一層の組合員の海外展開を支援するため、「高岡漆器」をPRするためのツールとして、英語版と中国版のパンフレットを作成しました。

平成29年には、東京ビッグサイトで開催された「東京インターナショナルギフト・ショー 2017秋」に組合員7社で共同出展し、国内外のバイヤーに高岡漆器をアピールしました。組合では、来場者のアンケートなどを分析し、



中国語と英語で高岡漆器を紹介

伝統の技を活かした実用性とデザイン性を兼ね備えた商品開発を図り、高岡漆器の魅力をより高めていきたいとしています。

【伝統工芸高岡漆器協同組合の概要】

理事長 氏家 史貴
所在地 高岡市開発本町1番1号
業 種 漆器に関連する製造業または卸売業
組合員数 38社
ホームページ <http://shikki.ec-net.jp>

3. 需要開拓の為に展示会出展用ポスター及びバナー製作事業

（伝統工芸高岡銅器振興協同組合）

高岡銅器は、前田家二代藩主利長公が呼び寄せた鋳物師を起源とし、400年余りの歴史を誇っています。昭和50年に国の「伝統的工芸品」の指定を受け、高岡銅器の間屋、製造業者で組織する伝統工芸高岡銅器振興協同組合が産地組合として活動しています。高岡銅器は、美術・工芸銅器の全国シェアの9割近くを占めると言われていますが、他の地場産業同様に生活様式の変化や安価な輸入品の増加により長年にわたり需要の減少が続いています。

このような中、「高岡銅器」の知名度向上を図るために、全国や海外向けに新たに販路開拓を行う必要があり、組合としても積極的に展示会に出展しています。このような展示会で目を引きPR効果を高めるために、当事業を活用してポスター及びバナーを製作しまし



富山県総合ものづくり見本市2017での展示ブース

た。

組合では、製作したポスターを組合員に配布し各事業所に掲示しているほか、イベントや展示会においてポスターやバナーを活用することで、高岡銅器の魅力を発信し需要拡大、産地の活性化を図っていきたくと考えています。

【伝統工芸高岡銅器振興協同組合の概要】

理事長 梶原 壽治
所在地 高岡市開発本町1番1号
業 種 製造・販売（卸売・小売）、加飾（着色・研磨・彫金等）
組合員数 199社

4. AR入りカード作成事業

（富山ます寿し協同組合）

ます寿司は、江戸時代には富山藩から將軍徳川吉宗にも献上され、富山が誇る味覚として観光客にも人気です。富山ます寿し協同組合は、富山市内の老舗ます寿司店で組織されており、そのほとんどが家族経営の小規模事業者で、組合では共同販売事業や共同購買事業などの共同事業を実施し、ます寿司店の販売支援などを行っています。このような中、組合では、平成27年の北陸新幹線開業にあたり、市街地のます寿司店の食べ歩きを意識した「富山ます寿しマップ」を作成、平成28年には、当補助事業を活用してスマートフォンをかざすと組合員の店舗や味の特徴などの情報を見ることができる「AR入ります寿しカ



ます寿司店を紹介するAR入りカード

ード」を作成しました。

組合では、これまでも東京のアンテナショップでの共同販売やPRのためのイベントのほか、ます寿司づくり体験教室などを開催し、ます寿司の知名度アップや販路開拓、新たなファンづくりに力を入れてきました。

AR入りカードは各店舗の店頭やイベントなどで配布しており、特に若い世代のファン獲得に繋がりたいとしています。

【富山ます寿司協同組合の概要】

理事長 関野 宏之

所在地 富山市丸の内二丁目4番17号

業種 ます寿司の加工販売

組合員数 13社

ホームページ <http://www.toyama-masuzushi.or.jp>

5. 組合員の強みをPRするためのパンフレットの作成（協同組合福岡金属工業団地）

協同組合福岡金属工業団地は、高岡市福岡町に立地しており、加工やリサイクルなど金属関連の企業で構成される工場団地組合で、組合員の多くが小規模の町工場です。一方で、組合員の中には、TVや新聞などのメディアに取り上げられ、また、最近では団地内に金属アートミュージアムをオープンさせるなど全国的に注目を集める企業もあります。

しかしながら、ホームページすら持たない組合員もあり自社でのPRが困難なことから、これまでは組合事務局で自作したホームページやSNS、地域の展示会などで組合員各社の情報発信を行ってきました。このようなこともあり、最近では組合員の技術に関する問い合わせや、団地の視察依頼も多く組合に寄せられるようになってきました。

そこで、今回の補助事業を利用して、展示会の訪問者、組合員の紹介依頼者、団地内への視察者等へ組合員を紹介するツールとしてパンフレット及びパネルを作成することとしました。

今回のパンフレット類の作成にあたっては、単に組合員のヒアリングやアンケート調査をするのみではなく、専門家として中小企業診断士に各社を訪問してもらい、各組合員の持つ強みなどを分析してパンフレットに反映しました。この取組みにより、組合員においても自社の強みを再認識することができました。

今後組合では、今回作成したパンフレットを活用して、組合員の受注機会の増大、学生へのPRによる人材確保、団地への来訪者の増加に繋がっていきたいと考えています。

【協同組合福岡金属工業団地の概要】

理事長 寺西 明雄

所在地 高岡市福岡町荒屋敷522番地

業種 機械金属製品製造

組合員数 11社（ほかに賛助会員2社）

ホームページ <http://www.fk-kd.jp>



組合員を紹介するパンフレット

6. 需要開拓の為にホームページの「レスポンスWEBデザイン」化事業

（井波彫刻協同組合）

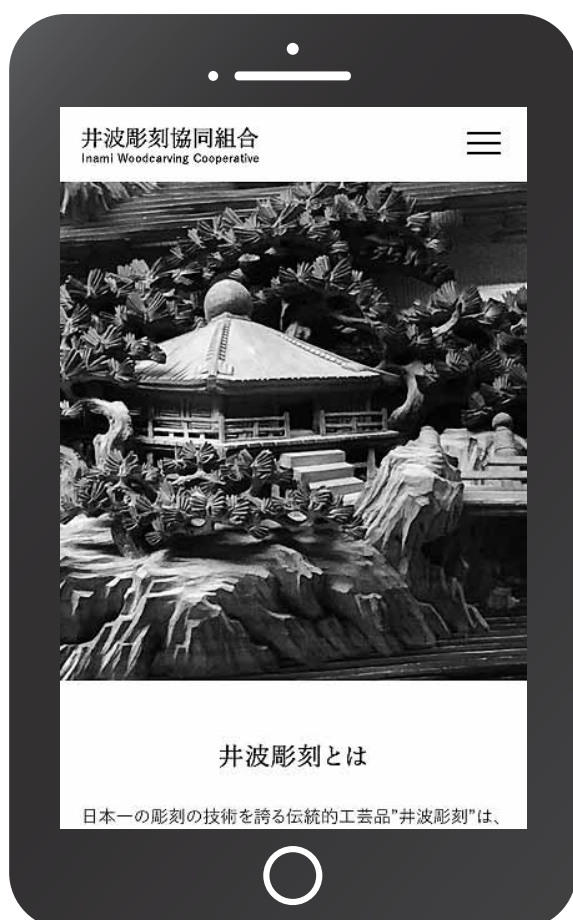
井波彫刻協同組合は、国指定の伝統的工芸品の井波彫刻の木彫職人116名で組織されており、天神様や欄間など井波彫刻作品の共同販売、木彫刻の展示館である井波彫刻総合会館の運営のほか、最近では名古屋城本丸御殿などの文化財修復の共同受注にも力を入れて

います。

組合では、比較的早い時期からホームページを立ち上げ、インターネットでの商品販売や井波彫刻のPRを行ってきましたが、既存のホームページ開設から時間が経過していることやインターネットを取り巻く環境が大きく変わってきていることなどから、今回の補助事業を活用してリニューアルをすることしました。

今回のリニューアルでは、井波彫刻の魅力を再発見していただくよう、「見やすく・使いやすく・分かりやすい」サイトとなるように変更しました。

さらに、スマートフォンの利用者増加に伴い、スマートフォンでの閲覧がしやすいように、レスポンシブデザインに変更し、パソコン、タブレットの縦・横、スマートフォンの縦・横のどれにでも対応したデザインで表示され



スマホやタブレットにも対応

るようになりました。検索大手のGoogleは、スマートフォンの対応のホームページを優先的に検索結果で表示することを発表しており、SEO（検索エンジン最適化）対策にも繋がります。

また、今回のウェブサイトでは、CMS（コンテンツマネジメントシステム＝ウェブサイト制作支援システム）で制作しており、専門知識が無くても、SNSやブログで投稿するように容易に記事の更新をできるようになることから、よりタイムリーな情報提供ができると期待されています。

組合では、ホームページで作品を紹介することにより組合員の販売促進効果や、リンクを貼ることにより組合員のホームページの閲覧数増加を見込んでいます。また、ネットショッピング売上の増加だけでなく、ホームページデザインの近代化により伝統的工芸品“井波彫刻”のブランド力を高め、閲覧者・購入者の安心感・購買意欲を高める効果も期待でき、これらにより、彫刻の修理・復元事業の共同受注の増加も見込んでいます。

【井波彫刻協同組合の概要】

理事長 岩崎 孝進
所在地 南砺市北川1733番地
業 種 木彫刻業
組合員数 116人
ホームページ <http://www.inamichoukoku.com>

7. 高岡銅器団地オープンファクトリー (高岡銅器団地協同組合)

高岡銅器団地協同組合は高岡の市街地に散在していた銅器製造業者が、生産性の向上や公害問題の解消を図ることを目的に、郊外に集団移転するため昭和52年に設立されました。組合設立から40年が経ち、組合や組合員を取り巻く環境が大きく変化中、実施していた共同事業も相次いで廃止するなど、組合事業が停滞しつつありました。このような中、

組合では、平成27年3月より組合員の後継者などの若手メンバーにより「未来を考える委員会」を発足させ組合活性化のための協議を重ね、昨年9月にオープンファクトリーを初めて開催し、オープンファクトリーに必要なイベント周知用ホームページや印刷物などを当事業を活用して制作しました。

オープンファクトリーには、団地内の21社の組合員が参加し一般の工場見学の受け入れなどが行われたほか、予約者限定で若手メンバーが各工場を案内する工場見学ツアーも開催され、2日間で500名以上が来場しました。来場者のアンケートでは9割以上がまた参加したいと答えるなど好評だったことから、組合では来年度の開催も検討しています。

【高岡銅器団地協同組合の概要】

理事長 藤田 益一
所在地 高岡市戸出栄町43番1
業 種 非鉄金属製造業他
組合員数 32社
ホームページ <https://doukinomirai.jp>



団地内を移動する来場者ら

8. 販路開拓のためのパンフレット作成事業 (富山県和紙協同組合)

富山県和紙協同組合は、「越中和紙」を構成する五箇山和紙、八尾和紙、蛭谷紙（びるだんがみ）の三産地の和紙製造業者で組織されており、越中和紙は昭和59年に国の伝統的工芸品の指定を受けています。

伝統的工芸品を取り巻く環境は、国民の生

活様式の変化による需要の停滞、従事者の減少や高齢化、更にはニーズに適合した商品開発の遅れ等による産業活力の低下等により厳しい環境にあります。当組合においても、組合員の生産額の総額が、15年前と比較して30%以上減少しており、また、組合員数も廃業等により9社から7社へと減少しています。

一方で、地域独自の文化を見直そうという風潮や和の暮らしやものづくりが再評価される動きが全国的にみられ、伝統的工芸品産業の重要性が高まってきています。また、富山県内においては北陸新幹線の開業効果もあり、和紙の生産額は下げ止まりつつあります。

このような中、新商品の開発や展示会への出展などの販路開拓を進める組合員もみられ、また、組合としても伝統工芸品関係のイベントや見本市等の展示会に積極的に出展しています。このような出展の際に、組合として越中和紙や組合員を紹介するパンフレットが無かったことから、組合員のPRにも繋がるツールとして、当事業を活用してパンフレットを作成しました。組合では、パンフレットを活用して、共同宣伝や共同販売事業を活性化させたいと考えています。

【富山県和紙協同組合の概要】

理事長 吉田 泰樹
所在地 富山市八尾町鏡町668番地4
業 種 和紙製造業、和紙加工品製造業
組合員数 7社
ホームページ <http://www.etchu-washi.jp>



越中和紙の産地を紹介するパンフレット

出合いや縁に支えられ販路拡大 昆布の良さ生かし地域に活気を

黒部市生地にあって、昆布の専門店を掲げる四十物昆布。昭和24年に利尻昆布専門の加工販売店として創業し、海産物加工販売へと業務を広げる一方、昆布産地との強い結びつきをもとに、国内だけでなく海外へも積極的に販路開拓を進めてきました。昆布加工製品の開発やネット販売にも力を入れる一方、昆布の魅力発信にも熱心な代表取締役社長の四十物直之氏に、これまでの歩みや地域、食品業界に対する思いをお聞きしました。

株式会社四十物昆布

代表取締役社長 **四十物 直之** 氏

「これからは地方の時代」

Q 自動車会社への就職をやめて、家業を継ぐ決意をしたきっかけについてお聞かせください。

祖父は大正期に20歳で北海道の利尻に渡り、網元としてニシン漁に乗り出し、海産物商として昆布、棒ダラなどを扱い全国に商いをしていました。次男の父は、昭和24年に生地町(現・黒部市)で当社の前身、マルコ四十物昆布加工所を起し、利尻昆布専門のとろろ昆布製造を始めました。

従業員10～15人ほどの店で、子どものころからよく手伝いをしました。昆布の将来性を懸念していた父からは「跡は継がなくていい」と言われ、自動車が好きだったので大学は工学部に進みました。大手自動車メーカーに就職が決まり、叔父に伝えると、長男は田舎に戻って親の面倒を

見るべきと諭され、「富山は米、魚、水と地域社会がある。これからは地方の時代だぞ」という言葉に押され帰郷しました。その後、叔父の勧めもあって、大阪のとろろ昆布メーカーでの修業を経て当社に入りました。

大阪では、朝4時から公設市場で実演販売をしたり、営業で堺や京都、和歌山のスーパーを回ったりして、1年半、とろろ昆布の調味から仕事に対する姿勢までみっちり学ばせてもらいました。父には「いい商品でも営業をしないと売れない」と進言しましたが、職人肌の父はいい商品であれば客は来てくれるという考え。1年後にようやく実質的な経営を任せられ、各地の食品問屋などへ営業をかけ、昭和57年には大和富山店に出店しました。父は職人に徹し、母は営業活動を経理として支えてくれました。

世界的レストランに納入

Q 国内だけでなく、海外へと広がる昆布の販路開拓についてお聞かせください。

当社の強みである羅臼昆布は羅臼漁業協同組合の生産量百数十トンのうち25トンを扱っています。羅臼町は町民の約7割が生地とゆかりがあり、お互い親しみを感じています。

平成10年前後から長引く不況の影響で、羅臼昆布の相場が下がりが始まります。羅臼町を訪ねるたびに漁師さんから窮状を訴えられる中で、昆布の加工品開発を進める一方、富山経済同友会の「とやま昆布まつり」や東京で開かれた県の「富山・北海道昆布祭り」に積極的に協力して、昆布の魅力発信に力を入れてきました。それらのイベントが縁で、フランスの「シラ国際外食産業見本市



黒部市生地中区の工場兼生地本店



昆布や昆布製品

あいもの・なおゆき

昭和28年6月1日、黒部市生まれ。52年、東京理科大学工学部卒業後、海部食品株式会社を経て、53年、四十物昆布に入社。63年、株式会社四十物昆布に移行し専務取締役、平成8年、代表取締役社長に就任。27年より富山県食品産業協会会長、現在に至る。富山県中小企業団体中央会理事、富山経済同友会幹事。



2011」への参加を勧められました。実はその数か月前に羅臼町で「羅臼昆布を海外で売る」と宣言したところでした。

会期中は毎日羅臼昆布のだし6リットルをつくり、ブースを訪れる人々に味見をしてもらいました。アンケートをとると、昆布は半数、うまみは6割以上の人に認知されており、シェフの関心も高く、引き合いも多かったので、急ぎバリエーションで日本食を扱う会社に取り扱ってもらうことになりました。その時手を貸してくれた英国在住の日本人を通じて、世界一のレストランと称されるデンマークの「noma」の著名シェフに羅臼昆布が渡り、気に入ってくれたことで、毎月120キロを納めています。欧州で昆布の取り扱いが広がりつつあるので、今後の展開に期待が膨らみます。

一歩前へ出る勇気が必要

Q 昆布専門店として将来に向けてどのような展開を見据えていますか。

平成29年の昆布の生産量は1万4000トンを割りました。30年前の半分以下で、価格が高騰していますが、商品への価格転嫁は難しい状況です。平成17年に始めたネット販売は、売り上げは月200万円を超えることもあり安定していますが、送料の負担が大

きくなっているのが課題です。

3年前に長男が勤めを辞めて入社し、すべての昆布の入札を任せ始めたところでした。商売の新しい展開に期待しています。

積極的に外へ出ることで、業界を越えてさまざまな方と出会い、その縁に支えられてきました。北方領土のピザなし交流や、かつて北前船の船員だった米田屋次郎吉の研究などで、貴重な経験もしました。

18年前、今の場所に工場兼直営店を建てる時、まちづくりの成功例になるという強い気持ちで踏み切りました。その後、出店が続き、この界限を訪れる県外客も増えました。一歩前へ出る勇気が必要だと感じています。

その直営店に私と母の夢である、昆布料理の店を併設できないかと考えています。昆布が山積みみの倉庫をガラス越しに見てもらいながら、昆布づくしの料理を味わってもらおう構想です。地域の結びつきや家族のだんらんが見直される昨今の動きの中で、スローフードとしての昆布の良さを多くの人に伝えたいと思っています。

若手主導で新商品開発を

Q 富山県食品産業協会の会長として、業界をどのように導きたいとお考えでしょうか。

富山県の食品業界の規模は全

国的にみても小さく、小規模事業者が多いです。協会では、食品表示やHACCP(食品の製造工程における品質管理システム)をテーマに勉強会を開いています。HACCPは国が制度化を進めており、弾力的な運用が認められていますが、小規模事業者にとっては、その基準を取り入れていくことは易しいことではないと思っています。

後継者難で廃業するケースが増え、会員数が減っている中で、協会を挙げて商品を作れないかと模索しています。まだ構想もできていませんが、「越中富山幸のこわけ」のようなイメージで、若手に頑張ってもらいたいと考えています。

ホールインワン3回

Q お忙しい中でどのようにリフレッシュをはかっておられますか。

ゴルフは学生時代に友人の誘いで始めました。これまでホールインワンは3回経験しました。40歳のときにスキーでのけがが元で腕の可動域が狭まりましたが、今もシングルをキープしています。ワインも好きです。浜によって昆布の味が違うように、畑によって味が異なります。背景にある歴史や文化を知ることワインの醍醐味と思っています。

桜木町地区振興事業協同組合さんよりこんにちは

富山市桜木町は、言わずと知れた富山県を代表する歓楽街で、訪れたことがある方も多いのではないのでしょうか。桜木町は富山城の東側に位置し、1849年（嘉永2年）に富山藩10代藩主前田利保が隠居所として建造した千歳御殿や庭園があった場所で、庭園東側の堀の桜並木をはじめ多くの桜の木があったことから桜木町と命名されたと言われています。桜木町の歓楽街は、桜木町と隣接する総曲輪1丁目も含まれており、約500軒の飲食店がひしめいています。今回は、この地区の飲食業者や不動産所有者などで組織する桜木町地区振興事業協同組合を紹介します。

◆組合のあゆみ

明治時代に入り取り壊されていた富山城千歳御殿とその庭園跡地に、当時の新川県（現在の富山県）が、県内に散在していた遊郭などを集めたことが花街としての桜木町の始まりと言われています。東・西の両別院や、総曲輪通りや中央通りといった商業地も近く、多くの人が集まったことから歓楽街として発展しました。明治初期の絵図には、千歳御殿時代の庭園の池や社を有効に活用してまちづくりがされた様子が描かれています。

組合は、昭和59年、消雪装置や街路灯の整備を目的に設立され、消雪装置の維持管理や防犯活動を行っているほか、地区を代表する地縁組合の役割も果たしています。

◆冬季に活躍する消雪装置

冬季間の消融雪対策は設立当初からの主要事業として取り組んでおり、消雪装置は組合設立とほぼ同時期に設置されました。消雪装置は桜木町から総曲輪1丁目にかけてのほぼ全ての道路に敷設されており、消雪水は松川近くの2箇所の井戸から地下水を汲み上げています。平成19年には市の助成も活用して揚水設備の更新を行うなど、組合では消雪設備の維持管理を行っており、これにより、地区



消雪装置は地区内の道路に張り巡らされている

内の事業者や来客者、住民の利便性が大きく向上しています。

◆安全・安心なまちづくり

平成26年には、翌年の北陸新幹線開業により県外からの来客の増加が見込まれること、また、警察や行政からの要請もあり、国の商店街まちづくり事業を活用して地区内に防犯カメラを6台設置しました。そのほか、平成21年からは、警察や地区内の関係団体とも協力して「桜木町地区安全パトロール隊」を組織し、毎月2回の巡回パトロールを実施するなど、犯罪抑制のための各種活動を行っています。

今後も組合では、安全で安心して訪れることができるまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。



組合で設置した防犯カメラ

【組合概要】

組合名称	桜木町地区振興事業協同組合
設立	昭和59年12月3日
所在地	富山市桜木町11番2号
理事長	澤田 悦守
組合員数	83名
T E L	076-444-6284
F A X	076-444-6284

新印刷会館「PALET(パレット)」が竣工

富山県印刷工業組合

富山県印刷工業組合は、完成した新しい富山県印刷会館での業務を2月より開始しました。また、組合を含む印刷関係の団体で構成する富山県印刷関連団体協議会では、1月12日(金)にANAクラウンプラザホテル富山(富山市)において、「新印刷会館竣工を祝う会」を開催しました。

完成した新しい印刷会館は組合員から愛称を募集し、P…Printing(印刷)・Publication(出版)、A…Advertising(広告、宣伝)、L…Language(言葉)・Letter(文字、字)、E…Ecology(環境)、T…TOYAMA(富山)の印刷産業に関するワードの頭文字から「PALET(パレット)」と名付けられました。言葉の響きから、絵画で使用されるパレット(palette)を連想でき、パレットの中で必要な色が作られるように、新しい印刷会館が時代に合ったアイデアをたくさん生み出せる場所になればという想いが込められています。



新印刷会館竣工を祝う会の様子



完成した新印刷会館「パレット」

とやマルシェの店舗をリニューアル 専門学校生が設計

協同組合富山のれん会

県内の和菓子店19社で組織する協同組合富山のれん会は、富山駅の商業施設「きとくと市場とやマルシェ」内で運営している店舗「とやま銘菓」を改装し、2月15日(木)よりリニューアルオープンをしました。

今回の改装は店舗の契約更新に伴うもので、従来の対面販売からレジで精算するセルフ方式に変更することと、若い感覚を取り入れるため店舗設計案を富山クリエイティブ専門学校に依頼しました。応募があった学生13組の案の中から評価が高かった5組を表彰し、最優秀賞に選ばれた設計案を実際の店舗に採用しました。また、セルフ方式になるのに合わせ、接客係として「和菓子コンシェルジュ」を配置し、以前と変わりなく商品説明などができるような体制を整えました。

新たな店舗では、「身近」で「カジュアル」な和菓子店「ミジカジュアル」をコンセプトとし、老舗和菓子を地元のお客様や若者にも広く利用していただける店舗を目指しています。



表彰を受けた学生と関係者ら



2月15日にリニューアルオープンした店舗

富山 UBA 創立40周年記念式典・第33回中小企業団体青年部富山県大会を開催

富山県中小企業青年中央会

平成29年11月18日(土)、ホテルグランテラス富山(富山市)において、組合青年部の会員や来賓ら約80名の出席のもと、富山 UBA 創立40周年記念式典・第33回中小企業団体青年部富山県大会を開催しました。

第1部の記念式典では、本会の杉本繁機副会長及び室則次富山中小企業青年中央会(富山 UBA)会長より主催者挨拶の後、伍嶋二美男富山県商工労働部長、伊藤竜己全国中小企業青年中央会(全国 UBA)理事より祝辞が述べられました。また、優良組合青年部を対象とした記念表彰式を行い、下記3組合青年部の代表者に本会会長表彰が贈られました。

◎富山県中小企業団体中央会会長表彰

【優良組合青年部】

- ・富山県管工事業協同組合連合会青年部
- ・富山県精密機械工業協同組合若葉会
- ・富山土石協業組合若石会

第2部の記念講演では、猪俣明彦県理事・商工労働部次長を講師にお招きし「富山県のインフラの整備と経済の発展について」というテーマでご講演いただいた後に、室富山 UBA 会長がコーディネーターとなり、講師の猪俣理事、伊藤全国 UBA 理事、県会議員で富山 UBA 元会長の藤井裕久氏をパネリストとしてお迎えし、「これからの県内中小企業・連携組織の在り方について」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

第3部の記念祝賀会では、垂石亨商工中金富山支店長より祝辞が述べられ、川崎智之東海・北陸ブロック UBA 会長の乾杯の挨拶の後に、富山魚商青年会の河瀬聡会長が所属している Bel Jazz Orchestra による演奏がありました。また、歓談を挟み、林繁良岐阜 UBA 会長のギターに乗せて富山 UBA 役員一同による通称 UBA ソングも披露され、会場はたいへん盛り上がりました。



挨拶をする富山 UBA の室会長



表彰受賞者による記念撮影



パネルディスカッションの様子



出席者による記念撮影



懇親会では UAB ソングが披露された

能作において工場見学及びランチ会を開催

富山県中小企業レディース連絡会

12月5日(火)、錫製の曲がる器「KAGO」シリーズなどで全国にも知られる高岡市の鋳物メーカー能作が4月にオープンした新工場において、工場見学及びランチ会を開催しました。

工場見学では、能作の担当者から会社概要についての説明、「KAGO」シリーズ開発の経緯について映像で紹介があった後、2グループに分かれて鋳物の製造工程を見学しました。

続くランチ会では、同工場に併設されているカフェ「IMONO KITCHEN」より能作の食器を用いた弁当が提供され、参加者それぞれからの自己紹介、意見交換を行い、交流を深めました。

また、ランチ会終了後には、希望者による鋳物製作の体験も行われました。

組合女性部ランチ会は女性部相互の親睦を深めることを目的に毎年実施しており、今回は約30名が出席しました。



鋳物の製造工程を見学



ランチ会で挨拶をする濱田昌子代表幹事

組合Q&A

このコーナーでは、日ごろ中央会へ多く寄せられる事業協同組合等の運営に関する質問について回答とともに紹介します。

行方不明組合員の出資金整理について

Q

組合員が行方不明となった場合、出資金の整理はどのようにすべきか。

A

出資を整理するには、当該組合員が組合を脱退することが前提となり、設問の場合は資格喪失による脱退または除名による強制脱退が考えられる。

もし行方不明と同時に事業を廃止しているのであれば、資格喪失として処理することが可能と考える。この場合、組合員たる資格が喪失したことを理事会において確認した旨を議事録にとどめると同時に、内容証明郵便をもって持分払戻請求権の発生した旨の通知を行なうことが適当と考える。

除名は総会の決議を要し、この場合除名しようとする組合員に対する通知、弁明の機会の付与等の手続きが必要であるが、組合員に対する通知は組合員の届出住所にすれば足り、この通知は通常到達すべきであったときに到達したものとみなされる。

弁明の機会の付与については、その組合員が総会に出席せず弁明を行なわない場合は、その組合員は弁明の権利を放棄したものとみなされ、除名決議の効力を妨げるものではない。なお、除名が確定した場合は、資格喪失の場合と同様の通知をするのが適当である。以上の手続きにより、当該組合員に持分払戻請求権が発生するが、その請求権は2年間で時効により消滅するので、時効まで未払持分として処理し、時効成立をまってこれを雑収入または債務免除益に振替えるのが適当と考える。

第58回中小企業団体富山県大会決議事項を県知事に要望しました

1月18日(木)、本会の高田順一会長は、朝日重剛副会長、杉本繁機副会長及び江下修理事・事務局長とともに富山県庁を訪問し、昨年11月に開催した「第58回中小企業団体富山県大会」において採択した決議に基づく要望書を石井隆一富山県知事に手渡しました。

高田会長から中小企業対策の拡充・強化、I o Tを活用した生産性向上支援、外国人技能実習制度の申請手続きの円滑化など重点要望事項について説明を行い、石井知事のほか同席した伍嶋二美男商工労働部長をはじめとした県幹部と懇談しました。



高田会長より要望書を受け取った石井知事



石井知事のほか伍嶋商工労働部長ら県幹部との懇談

県内5経済団体による新春互礼会を開催しました

1月4日(木)、富山第一ホテル(富山市)において、平成30年経済団体新春互礼会を開催しました。経済団体新春互礼会は、富山県商工会議所連合会、富山県商工会連合会、一般社団法人富山県経営者協会、富山経済同友会及び本会の県内経済5団体の共催で例年開催しているもので、今回は石井富山県知事をはじめとした来賓を含め総勢約480名、本会からは高田会長をはじめ役員ら18名が参加して行われました。

互礼会では、本会の高田順一会長が開会を宣言、富山県商工会議所連合会の高木繁雄会長が開会のあいさつ、石井隆一知事が祝辞を述べたほか、富山経済同友会の米原蕃代表幹事の音頭で鏡開きを行い、富山県商工会連合会の石澤義文会長の発声で乾杯しました。また、富山県経営者協会の金岡克己会長が中締めをしました。



開会を宣言する高田会長



新春互礼会は約480名が参加した

外国人技能実習制度適正化事業講習会を開催しました

平成29年11月27日(月)、とやま自遊館(富山市)において、外国人技能実習制度適正化事業講習会を開催しました。

講習会では、厚生労働省社会・援護局福祉基盤課の熊野将一室長補佐より外国人技能実習制度における介護職種の追加について、富山県職業能力開発協会の内山滋技能検定課長より技能検定随時3級の対応状況について、また、外国人技能実習機構名古屋事務所富山支所の水野英樹認定課長より技能実習計画認定申請に係る留意点について、それぞれ説明がされました。

本会では、外国人技能実習生の受入事業を行う組合(監理団体)に対する外国人技能実習制度適正化事業を実施しており、今回の講習会はその一環として開催したもので、監理団体の役職員ら約70名が受講しました。



講師の厚生労働省の熊野室長補佐



講習会の様子

消費税軽減税率対策講習会を開催しました

本会では、1月24日(水)に高岡エクール(高岡市)において、また、1月25日(木)に富山流通会館(富山市)において、消費税軽減税率対策講習会を開催しました。

両会場とも、鈴木孝明税理士より、「軽減税率制度をもう少し詳しく知る」と題して講演いただきました。講師の鈴木税理士からは、平成31年10月から消費税率が10%への引き上げられるのと同時に適用される軽減税率制度の対象となる飲食料品や事業者が対応すべき事項のほか、軽減税率対応POSレジ導入等の補助金制度の概要について説明がされました。

両日とも大雪の影響もあり受講者数は多くはありませんでしたが、受講者は熱心に講師の話聞き入っていました。



講師の鈴木税理士



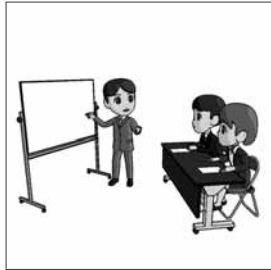
富山会場の様子

うつ病等のメンタル疾患による休職者を抱える人事ご担当者様へ

職場復帰支援のご案内



職場復帰を考えているものの、順調に勤務ができるのか不安を感じているAさん



職場復帰支援で、復職後の勤務をイメージしながら段階的に活動時間を延長するとともに、疲労やストレスの対処法について学びました



職場復帰支援での活動が自信につながり職場復帰を果たし、安定して働き続けられるようになりました

支援のポイント



休職者

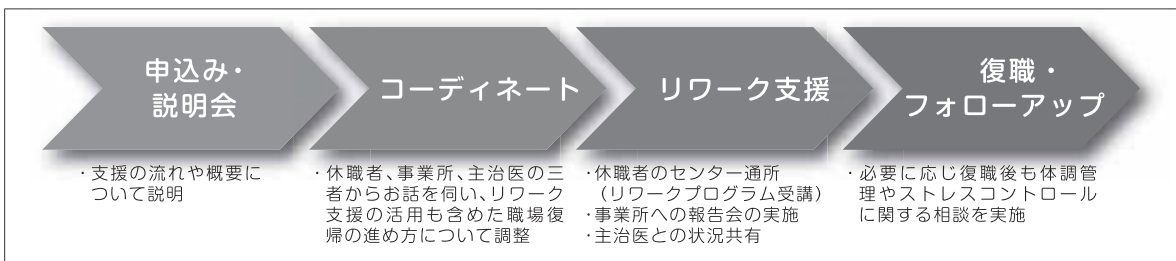
- ① 活動時間の段階的な延長や職場内でのコミュニケーションを想定したウォーミングアップができます
- ② ストレス対処の方法を検討するなど、できるだけ再休職をしないための準備をしていただけます



事業主

- ③ 主治医と連携して職場復帰の準備が進められます
- ④ 復職の際に、職場へ支援者（ジョブコーチ）を派遣する制度を活用することもできます
- ⑤ センターでの通所状況を踏まえて受入れの準備ができます

職場復帰支援の流れ



お問合せ先



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 富山支部
富山障害者職業センター

TEL: 076-413-5515

〒930-0004 富山市桜橋通り1-18 北日本桜橋ビル7階

URL: <http://www.jeed.or.jp/location/chiki/toyama/index.html>



・支援は無料でご利用いただけます。
・説明会を開催しております。詳しくはお電話か、ホームページをご確認ください。

富山税務署からのお知らせ

問合せ先 富山税務署 ☎432-4191

※ガイダンスに従って、番号をプッシュしてください。

平成29年分 所得税及び復興特別所得税・消費税及び地方消費税・贈与税の確定申告

●確定申告書の作成は、国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」で！

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」をご利用いただければ、画面の案内に従って金額などを入力することにより、税額などが自動的に計算され、計算誤りのない申告書を作成することができます。

確定申告書の作成に当たっては、「確定申告書等作成コーナー」をご利用いただき、作成した申告書等（データ）は、ご自宅等のプリンタで印刷して郵送等により所轄税務署に提出してください。また、同コーナーの画面上からそのまま「e-Tax（電子申告）」を利用して送信（申告）することもできます。

詳細は、国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp>）をご覧ください。

※ e-Taxのご利用に当たっては、事前に開始届出書の提出、マイナンバーカード、ICカードリーダライタの購入などの事前準備が必要です。詳しくは、e-Tax ホームページ（<http://www.e-tax.nta.go.jp>）をご覧ください。



タブレットでも作成できます！

【マイナンバーの記載にご注意ください！】

確定申告書には、マイナンバーの記載と本人確認書類（マイナンバーカード又は通知カード＋運転免許証など）の提示又は写しの添付が必要です。

国税に関するマイナンバーの詳しい情報は、国税庁ホームページのトップにある「社会保障・税番号制度＜マイナンバー＞」をクリックして、ご確認ください。

※ 自宅などからe-Taxで送信すれば、本人確認書類の提示又は写しの提出は不要です。

【申告書提出期限と納期限・振替日】 納付は、安全確実な振替納税が大変便利です。

	申告書の提出期限	納期限（納付書で納付する場合）	振替日（振替納税の場合）
所得税及び復興特別所得税	3月15日（木）	3月15日（木）	4月20日（金）
消費税及び地方消費税	4月2日（月）	4月2日（月）	4月25日（水）
贈与税	3月15日（木）	3月15日（木）	

※ 確定申告をする必要のある方が期限内に申告・納税をしなかった場合、後で不足の税金を納めていただくだけでなく、加算税や延滞税を納めていただく場合がありますのでご注意ください。

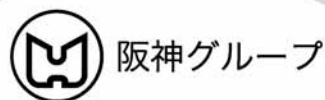
【確定申告会場】（受付時間 午前9時～午後4時）

申告会場		開設期間等
富山税務署管内	富山県民会館 地下1階 （富山市新総曲輪4-18）	2月16日（金）～3月15日（木） この期間中は富山税務署庁舎での申告相談を行っておりませんのでご注意ください。 土曜日及び日曜日は執務を行っておりません。 ただし、2月18日と2月25日の日曜日に限り、確定申告の相談及び申告書の収受を行います。 ※会場には無料駐車場がなく、また、駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関のご利用をお願いします。
高岡税務署管内	高岡税務署 1階 （高岡市博労本町5-30）	2月16日（金）～3月15日（木） 土曜日及び日曜日は執務を行っておりません。 ※駐車場は大変混雑します。会場へお越しの際は、公共交通機関のご利用をお願いします。
魚津税務署管内	魚津合同庁舎 4階 （魚津市新金屋1-12-31）	
砺波税務署管内	砺波税務署 2階 （砺波市本町13-19）	

※ 会場の混雑状況により、午後4時前であっても受付を終了させていただく場合があります。

医薬品容器・医療用具の総合メーカー

医薬品（液剤）製造



阪神グループ

阪神容器株式会社 阪神化成工業株式会社 ファーマパック株式会社

代表取締役会長 高田 眞 代表取締役社長 高田 順一

URL <http://www.hansin.co.jp/>

本 社 〒 536-0017 大阪市城東区新喜多東 1-4-12 TEL (06) 6967-1771 (代)
富山本社工場 〒 939-8183 富山市小中 163 番地 TEL (076) 429-1865 (代)
大沢野工場 〒 939-2243 富山市中大久保企業団地 TEL (076) 468-9119 (代)
支店/工場 東京・滋賀・山形・岡山・茨城・大沢野・御殿場

『 和・創造・対話 』

アルミを通して優れた品質を追求し、信頼される企業を目指してまいります。



本社工場

株式会社 広瀬アルミ

三協立山株式会社協力工場
住宅用アルミサッシ製品・アルミ型材部品加工

本社・高岡工場 高岡市醍醐 790 番地
TEL : (0766) 63-5360 FAX : (0766) 63-8040

福光工場 南砺市久戸 50 番地
TEL : (0763) 52-2860 FAX : (0763) 52-8038

三協アルミ社 福岡工場内
三協アルミ社 福光工場内
三協アルミ社 福野工場内

小規模企業の **会 社 役 員** のみなさまへ

還暦から始める小規模共済!!

経営者の退職金制度

法改正により平成28年4月1日から、
会社役員の方は、**任意退任(65歳以上)**でも
有利な共済金を受け取れるようになりました!



▶ 国が定めた制度で「安心・確実」

- 法律(小規模企業共済法)に基づく共済制度
- 国が全額出資する(独)中小機構が運営

▶ 掛金は、「月額70,000円まで」 (500円刻みで月額1,000円~)

- いつでも、「増額」や「減額」ができます

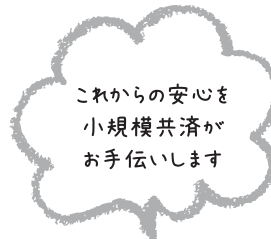
▶ とにかく「大きな節税」

- 掛金は、全額「**所得控除**」
※掛金全額所得控除による節税額 節税額109,500円!
課税所得400万円 税額785,300円
掛金月額3万円(年間36万円) 加入後税額675,800円

- 受取る時(共済金)は、「**退職所得扱い**」(一括受取)
又は「**公的年金等の雑所得扱い**」(分割受取)

▶ どんな時にもらえるの?

- 将来、「**廃業**」「**役員退任**」等が生じたときに共済金を受け取れます。
小規模企業共済は、「小規模企業経営者のための退職金制度」です。
加入し、掛金を毎月積み立てておけば、現役引退後の安心した生活設計が図れます。



加入できる方は、常時使用する従業員が20人以下(宿泊業・娯楽業を除くサービス業、商業では5人以下)の個人事業主(共同経営者含む)及び会社等役員の方です。詳しくは制度のしおり等をご覧ください。



中小企業と地域振興をもっとサポート
独立行政法人

中小企業基盤整備機構 北陸

〒920-0031 石川県金沢市広岡3-1-1 金沢パークビル10階

共済相談室 TEL **050-5541-7171**

URL <http://www.smrj.go.jp/kyosai/index.html>

小規模共済

検索



今さらだけど知りたい
とやまの
モノ・コト・トコロ

越中瀬戸焼 430年以上の伝統と 立山の風土を映す器

立山山麓の古窯にあって430年以上の伝統を有する越中瀬戸焼。
その魅力や歴史についてご紹介します。



越中陶の里 陶農館エントランスに展示されている越中瀬戸焼の作品

軽く硬く使いやすい陶器

越中瀬戸焼は立山町新瀬戸地区で作られている陶器で、平成25年には富山県伝統工芸品の第1号に指定されました。柔らかな土味を生かした素朴さの中に繊細さを兼ね備えた趣に加え、シンプルで力強さを感じさせる器は軽く硬く、使いやすいのも魅力の一つ。ファンも多く、スティーブ・ジョブズ氏が生前、窯元のひとつである庄楽窯の釋永由紀夫さんの作品を気に入り、たびたび制作を依頼していたことも話題になりました。

地元の里山で採取される陶土は非常にきめが細かく、耐火度が高いものです。約1300度の高温で焼くと、硬い磁器性質に近い焼き物に仕上がります。中でも「白土」は鉄分が少なく、大変貴重な粘土です。

木灰・藁灰など自然素材から作られた多彩な釉薬や施釉の技法も越中瀬戸焼の特徴です。伝統を受け継ぎながらも、立山の雄大な自然の中で暮らす人々の、おおらかで自由な発想が映し出されているようです。



釋永由紀夫さん

平安初期からの古窯地

立山町の上末地区は陶土に恵まれ、古くは平安時代初期ごろから須恵器（古墳時代に朝鮮から伝わった硬く焼かれた土器）が焼かれた日本でも有数の古窯です。越中の瀬戸焼は加賀藩二代目当主前田利長が良質な土に着目し、尾張から陶工たちを招いて焼き物を作らせたことが始まりと伝えられています。当初は藩の御用窯として、その後は日常使いの皿やすり鉢、茶器などを幅広く製作する産地として発展し、焼き物を税として納めていました。そのため、農家も焼き物をするなど作陶は生活に根付いたものでした。

最盛期には20数か所もの窯があったそうですが、明治から大正に進むと陶器瓦の生産に転じ、器造りは一時衰退。しかし、昭和初期から釋永さんの祖父、庄次郎さんら地元の人々の熱意で復興を遂げ、現在4つの窯元が窯煙を上げ続けています。



越中瀬戸焼の作陶風景

魅力発信する「かなくれ会」

平成23年には4つの窯元の作家5人が協働で陶芸の魅力を発信しようと「越中瀬戸焼かなくれ会」が結成されました。かなくれとは地域の言葉で陶片のこと。新作展のほか、窯元が席主となり、かなくれ会の作品が道具組として使用される茶会や、音楽家や料理人とコラボレーションしたイベントなどを催し、作り手と使い手の交流を盛んにしています。また、越中瀬戸焼の里に足を運んでもらうことで多くの人に立山の魅力を伝えていきたいとしています。

平成30年には愛知県瀬戸市立美術館で企画展「越中瀬戸焼展 桃山から現代へ」（4月14日～6月10日）が開催されます。瀬戸焼ゆかりの地で越中瀬戸焼が展覧されるのは初めてで、釋永由紀夫さんは「先人たちが土に込めた想いや志を学びながら、自分たちが目指す焼き物の方向を考えてみたい」と話し、越中瀬戸焼の未来に思いをはせています。

越中瀬戸土で陶芸体験も

越中瀬戸焼に触れられる施設として「陶農館」があります。エントランスには越中瀬戸焼の4窯元、5人の陶芸家の作品が展示販売されているほか、立山ブランドの商品も販売されています。陶芸室ではカップや皿を作る手びねりコースや気軽にできる絵付けコースの体験ができます（前日までに要予約）。この地で採れる越中瀬戸土と教材用粘土から選ぶことができ、スタッフが指導してくれますので、初心者でも安心です。



越中陶の里 陶農館



陶芸教室の様子

【越中陶の里 陶農館】

住所：立山町瀬戸新31

電話：076-462-3929

営業時間：9:00～16:00

休館日：火曜（祝日の場合は翌日）、年末年始

料金：見学無料、陶芸体験手びねりコース大人1,500円～、小学生以下1,200円～ ※越中瀬戸土はいずれも+300円、絵付けコース1,000円～

H P：https://www.yoshimine.or.jp/play/02.html



企業立地マッチング促進事業(委託元・富山市工業政策課 お問い合わせ TEL 443-2074)

富山市内で空き工場・用地等をお探しの方へ!

http://aki-toyama.jp/

富山市では、富山市内の工場物件等のマッチングサイトを開設しております。本サイトは富山市内の**空き工場・作業場・倉庫・工場用地・事務所**などの遊休事業用不動産の有効活用と地域産業の活性化を図るために、工場等の立地促進(移転・増設・県外企業誘致など)に取り組む事業の一環として運営しております。

現在所有の遊休事業用不動産の**売却・賃貸**、または**取得・賃借**をご検討されておられる方は、当ホームページをご利用いただきますようお願いいたします。



ホームページ画面の画像は一部加工しています

業務提携：(公社)富山県宅地建物取引業協会 (公社)全日本不動産協会富山県本部

アクセス方法は次の3つ!!

検索サイト 検索
HPアドレス URL



QRコード

■ホームページや本事業に関するお問い合わせ
〒930-0083 富山市総曲輪2-1-3 富山商工会議所ビル6階
富山県中小企業団体中央会 工業支援課
TEL：076-424-3686 FAX：076-422-0835

H29. 8